

# 第1回学校運営委員会だより

令和7年5月16日  
世田谷区立明正小学校  
学校運営委員会

参加者…田中(委員長・卒業生)、石神(有識者)、辻(地域)、藁谷(地域)、倉谷(地域)、稻葉(卒業生)、江盛・岩田(PTA)、亀井(就学予定)、栗林校長、栗田副校長、高貝副校長

## 1 委員自己紹介

## 2 今年度着任、栗田副校長挨拶

入学式準備のとき、子どもたちが男女仲良くきびきびと張り切って動いて、それを先生たちが褒めている、すてきな学校だと思った。これだけの人数の学校は始めてで、始業式で全体児童が集まつたときの姿勢、態度もすごいなと思った。今日の避難訓練もこれだけの人数が6分台で集まるのはすごい。校長先生の話もしっかり聞いていた。運動会も楽しみにしていただければと思う。

## 3 校長より学校経営方針の説明

教育目標から説明「明るい子ども」「正しい子ども」「たくましい子ども」  
・「社会に関わり、これから社会を担う子どもを育てる」を大切にしたい。  
・子どもたちの「やりたい」気持ちを大切にして、教職員が導いていく、ファシリテートして教育活動を進めていく。  
・「夢中になれる」「やってみたい」「みんなが安全安心」をキーワードに。  
・持続可能な開発目標、ウェルビーイング。具体的には、子どもたちが自己肯定感を高めたり、社会貢献の意識を高めたりすることを目標にする。  
・子どもたちが課題を見いだし、解決する方法を考え、学びを振り返る、探究的な学びのサイクルを大事にしたい。子どもが夢中になれる授業を考えたい。  
・今年度は展示を中心の学習発表会、その中でつくり出す喜びを感じもらいたい。  
・今年3月に「せたがやインクルーシブ教育ガイドライン」が示された。多様性を尊重し、自立と社会参加、共生を目指す。家庭・関連機関との連携、通常学級とひまわり学級の交流・共同学習を推進する。  
・警察のセーフティ教室、正門の施錠など、教職員に「さしすせそ」を徹底するように指導していく。  
・学校ホームページ、学校公開などで積極的に情報公開していく。  
・働き方改革、チームとして教職員全体が働き方改革を進めていく。服務の厳正についても留意する。  
・めざす学校像は「子どもたちが主役」、明日も学校に行きたいと思える学校、保護者は協力したいと思える学校、教職員は明正小で勤務してよかったと思える学校。  
・今年度は振替休業日を設けない土曜授業はなくなる。

## 学校の様子

・中学校の卒業式の後、卒業した子どもたちが遊びに来てくれた。卒業してもなお、こうして来てくれる子どもたちがいることを嬉しく思う。  
・入学式前日準備…6年生が一生懸命準備してくれた。  
・学年集会…その中で障害理解教育として、学年のひまわり学級児童との顔合わせを行つた。学級ごとの時間ではなく、学年集会で早い時期に行つた。  
・学校探検…1年生は校長室に来て、歴代校長の写真の数を数えていた。2年生は、1年生を案内するために、下調べの学校探検を行つた。  
・地域懇談会…成城さくら児童館の地域懇談会に参加した。今年度も児童館と連携していきたい。  
・校内研究全体会…今年度は「探究的な学び」課題を見付け、協働して、学んで、まとめて、振り返るというサイクルを大事にしていく。世田谷区の施策もある。  
・運動会へ向けて、教職員が校庭整備を行つた。6年生は表現、5年生はソーラン節、4年生はエイサーの練習をしている。児童鑑賞日に大玉送りをする予定である。

学校協議会、案内せず申し訳ない。学校運営委員会・学校支援地域本部・学校協議会・学校関係者評価委員会について、新たな運営体制への見直しを検討していくと教育委員会で考えられており、9月頃に方針が示される予定である。実態として学校協議会をやっていない学校が半分くらいある。この現状の中で、今回見送る判断をした。きちんとお伝えしていなかった。今後、どのように実施していくかまたお知らせする。

## 4 委員からの意見

・学年集会でのひまわり学級児童の自己紹介について、ひまわり学級児童のみが前で自己紹介をするというのは違和感がある。お互いに自己紹介し合うのであれば自然だと思う。  
→適切な方法ではなかった。今後改善していく。

・学校協議会については昨年度のうちに話が出てもよかったです。警察や消防は来られるので、防犯の話などを聞ける機会でもある。急に、学校判断でなくなるというのは疑問に思う。

・教育委員会が1月に出してきた「働き方改革推進プラン(案)」は、地域・保護者からの目線や意見を取り入れていないのではないか。地域と保護者の視点を入れてもらいたい。どうやって地域や保護者と連携していくのか考慮してほしい。

・日本書芸院の教育局長が書いた記事を目にし「漢字の書き順などを見ながら確認するのがよいのでは」と書いてあった。高学年では授業で書くということが減っているというのを聞いている。「書く」ことに対して、どの程度やっているのか。どの程度書かせているか。たまに掲示されているものを見ても、ばらつきがある。

→調べたり、まとめたりはノートかPCかを選択させているものもある。提出は写真を撮ってする子もいる。「中1で苦労している」という声も情報交換して得ているが、逆に中学校が変わらなければいけない要素があるのかもしれない。中1ギャップにならないように考える必要がある。子どもたちの学習の進行管理には多くの個別指導が必要、教師が子どもたちに関わる時間をつくるための働き方改革である。

・地域と共につくる学校ができているか、心配。学校やPTAの関わりを見ていると、大丈夫かと思うことがある。地域とPTAの関わりについても気に留めてほしい。以前は集団登校などがあって子どもたちの顔と名前を覚えやすかった。近隣保護者間のつながりもできやすかった。

→両親共働きが多い昨今、なかなか難しい状況である。新しいよい方法を探っていくとよい。

・小学校は、地域で一番最初に接する社会の単位だと思う。長い6年間で外に出ていく準備をする期間。外に出たときに渡っていける力をつける準備期間。個人差があっても、その子のペースで上がっていくときに、その力がここにあるよと言えるような6年間を過ごさせてほしい。保護者も地域も学校も、それを基本に考えてほしい。

・先生というのは存在であって、機能ではない。親も先生を大事にしなければならない。子どもにとって素晴らしい人格の人物がいる、という尊敬そのものがあるべき。その意味では先生を大事にする社会をつくるといけない。明正小の教職員でよかったですと感じることが大事。働き方改革などは先生の機能面の観点である。そうではなく、先生を尊敬していること自体に価値があると考えてほしい。先生は使うもの、ではなく、先生を尊敬して大事にすべきである。権利と義務の関係ではなく。素晴らしい先生方が「小学校の教師でよかったです」と思える小学校がよい。

・保護者としてこれまで6人の先生に関わってもらったが、本当に子どもを通して「信頼ってこういうことなんだな」と感じている。同じ思いの保護者がいると思う。保護者の横のつながりをつくりたい、学校に何か返せたらと思っている保護者もいる。

・さくらママについて。学校支援地域本部の活動にあたる。昨年度、学校支援地域本部の予算は6万円近く余った。今年度の予算から書籍等の購入を検討していく。学校図書室・さくらママ・学級文庫ボランティア間の連携をはかり、子どもたちの読書環境をより充実させていきたい。

・明後日5月18日、緑化祭りで明正小HAPPY☆エイサーが出演する。大蔵運動場で11時から。

## 5 その他

次回以降の予定

第2回 7月 4日(金)

第3回 9月10日(水)

第4回 10月29日(水)

第5回 12月 3日(水)

第6回 2月 4日(水)

第7回 3月 6日(金)

学校運営委員会は公開されており、傍聴いただけます。

傍聴を希望される方は事前に [meiseispt@gmail.com](mailto:meiseispt@gmail.com) へご連絡ください。